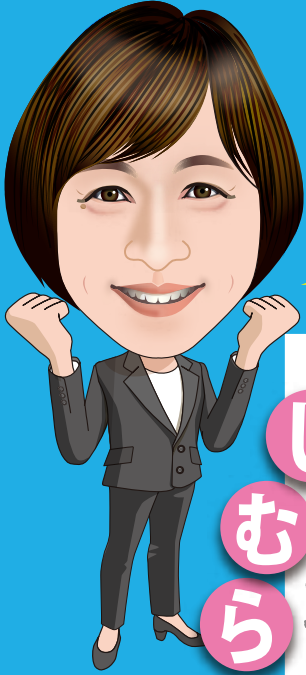




住みたい街 No.1を目指します

自由民主党浜松議員控室 〒430-8653 浜松市中央区元城町 103-2 ☎053-457-2495 FAX：053-453-2464

辻村きみこの 活動報告 第2号

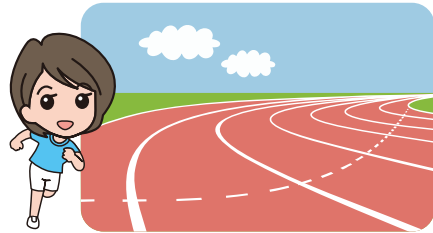
令和6年度の幕開けは能登半島の震災と辛いニュースから始まりました。数か月たった今もなお不安な生活をされている方がおります。一日も早く安心して暮らせる日常が取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。浜松市においても南海トラフ地震に備えた地震対策、豪雨災害における防災・減災対策の強化に力を入れて取り組まなければなりません。また1月から新3区がスタートし、柔軟で効率的な市政運営が可能となりました。市民の誰もがウェルビーイング（心身ともに幸せな状態）を感じられるまちを目指し、人と人のつながりを大切に、これからも市民の皆様に寄り添った活動をしてまいります。皆様からより一層のご指導をいただき、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



市議会 11 月定例会にて初の一般質問に立ちました。多くの地域の皆様が傍聴にお越しいただきありがとうございました。

Q スポーツの振興について

本市は気候にも恵まれた種目にわたるスポーツが盛んであり、スポーツ振興を通じた地域活性化を図ることが重要である。本市は、陸上競技が盛んな地域でもあり四ツ池公園陸上競技場の利用者も年々増加傾向である。現在、整備方針に基づき検討されているが、観客と選手が一体になって楽しめる施設を含めた四ツ池公園陸上競技場の整備について中野市長に伺う。



健康志向から競技アスリートまで陸上競技人口も幅広く、学校や企業等による育成にも力を入れており、今後の施設の検討にあたっては、スポーツを「する」側の選手の視点を取り入れるとともに、「みる」側の視点、さらには「ささえる」側の視点も含め、市民に幅広く親しまれるスポーツ拠点となるよう検討していく。



Q デジタルを活用した市政情報の発信について

デジタル化は市民生活の利便性を向上させ、また業務の効率化と共に、市民一人ひとりの状況に応じたきめ細かいサービスが低コストで提供できる。本市では公式LINEにチャットボット機能があるが、活用状況や利用状況、また市政運営にどのように反映しているか伺う。



2020 年度より特に問い合わせの多い14分野の手続きを自動応答するチャットボット機能を市公式LINEに導入し、現在およそ42万の方に利用していただいている。道路損傷箇所の通報サービスの通報件数の増加、時間や曜日に関係なく随時受付ができる点や、市民から現場の写真に基づく位置情報などから、業務の効率化につながっている。



Q 道路行政における交通事故対策について

交通事故 14 年間ワーストワン脱出を目指す本市では、事故防止のための様々な取り組みをしている。全国でも行政が行った事例が極めて少ない新たな取り組みとして、交通事故 AI 分析を実施しているが、その結果と今後の展開について伺う。



初めての一般質問

Q 災害リスクを踏まえた防災まちづくり

気候変動に伴う豪雨災害の頻発化・激甚化をふまえ、河川の整備を加速化するとともに、水災害のリスクを踏まえた防災まちづくりの推進が重要である。九領川の河川工事の進捗状況及び、九領川上流域での浸水対策について伺う。また本市の防災計画における防災井戸の位置づけや、手押しポンプの設置に対する助成などの考えについて伺う。



Q そのほかこのような質疑を行いました

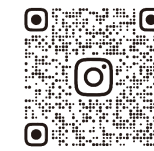
- ・部活動の地域移行に向けて新設されるスポーツ担当と学校教育部が連携して課題に取り組むことが重要であると考えているかどうか伺う。
- ・本市では80を超える国と地域の外国人市民が2万8千人在住している。中学生の年齢で初めて日本の学校に就学する外国人生徒のための初期日本語指導拠点校を増設する考えはないのか。
- ・行政区再編により新3区体制がスタートするが、これまで西区で進めてきたまちづくりによって培われた、地域のアイデンティティを今後いかに引き継いでいくのか。
- ・西区独自の取組として「わたしの減災プロジェクト2023」の総括について。



質疑の様子はこちらよりご視聴いただけます。→
(市議会インターネット中継)



tuzikimi
instagramにて日々の活動発信中



辻村きみこの議員活動・地元の活動



神久呂小学校新校舎完成



期成同盟会要望活動



会派勉強会



新設された医療センター視察



「えこはま」にてごみ減量推進



スポーツ推進委員として



子どもの居場所づくり（西山会館）